

一西だより

豊川市立一宮西部小学校通信

令和6年9月25日 第19号

発行；校長 村上謙一

【秋のたより】



残暑厳しいおりですが、9月18日（水）朝、5年生の子どもが「栗をひろったよ」と、秋のたよりを届けてくれました。大きく立派な栗です。季節は確実に

移り変わっています。子どもたちも確実に成長しています。

【見えない学力が試された！】

4年生のあるクラスのでできごと。チャイムが鳴っても先生の姿が見当たりません。それでも級長の号令で授業が始まります。どうも今日は算数のテストがある様子。しばらくするとザワザワしてきます。やがてノートを開いて復習を始める子、教科書を開いて読む子、タブレットを置いて作業を始める子、「タブレットはダメじゃん」と注意をする子、様々な姿が表れます。

チャイムが鳴っても先生がいないことはよくあります。調子が悪くなった子の手当て、お家への連絡など、10分の放課にやるべきことが終わらないケースのほうが多いくらいです。先生の指示どおりに学習を進めるのは誰でもできます。でも、こういったすき間時間を活かしている人は何人いるでしょう。

なりたい自分になるために、自分で考えて、やるべきことに取り組める力＝「見えない学力」です。この力を伸ばせば、すき間時間も学びの時間にすることができるので**「見える学力」＝成績**も伸びます。10年後の社会で生きる君たちに大切なのは「見えない学力」を伸ばすことです。4年生のこのクラスは、このすき間時間約10分に一人ひとりが自分で考えた学習をして算数のテストに備えました。でも机に突っ伏してすごしてしまったり、おしゃべりや他人への注意ですごしてしまった人もいたかもしれません。

予想外のことが起きたら、「見えない学力を伸ばすチャンスが来た！」と考えてみよう。ちょっと見ると、みんなやっていることがばらばらだけど、一人ひとりをよく見てみると全員が「なりたい自分になる」ために、学んでいる。そんなクラスって素敵じゃないですか。そんな学校にしたいですね。

【チーム担任制本格実施に向けた準備】

先にご案内の通り、中・高学年で毎週水曜日に行っているチーム担任制（担任ローテーション）を、令和7年度4月から完全実施に踏み切ります。これに備えて、先生方の調査研究が深まっています。毎週1回、1時間程度の時間をとって、どのような制度設計が一西小の子どもたちに合っているのか議論を重ねています。また、チーム担任制や40分午前中5時間授業など先進的な取組で全国的に注目を集めている兵庫県川西市立多田小学校、チーム担任制実施3年目を迎える京都市立岩倉北小学校に、それぞれ3人の先生方が視察を行います。そして、京都市で本取組を率先された京都市教育委員会の三浦清孝先生を講師にお招きして、全教職員で学習会を開催します。子どもとともに学ぶ私たち教職員は、よりよい学校づくりに向けて学び続けています。

【青少年健全育成推進協議会のみなさま】



コロナ禍をへて、学校での活動が止まっていたようですが、「地域の宝である子どもを地域の力で育てたい」という

熱い思いをもつ皆様のお力を得て、学校での活動が再開しました。

まずは「0のつく日のあいさつ運動」から。学校の花だんつくりにもご協力がいただけることです。人を信頼する心がなければ、人とのかわり方を学ぶことなどできません。地域の大人に見守られることで、子どもたちは安心感に包まれ、人を信頼する心を育てています。

【マラソン大会、どうする？】

代表児童が議論を重ねています。「リレー形式にしてはどうか」「コースは学校の中で納めたほうが安全だ」「低学年の子たちの気持ちはなかなかわからないなあ」「大人に見られることが恥ずかしい子もいるよ」こんな声が聞こえてきます。みんなのウェルビーイングを考える力って、こういうことなのでしょうね。けんさんはうれしくなってきました。